



Daiki Axis Co.,Ltd.

水をきれいに。暮らしを快適に。

ダイキアクシス浄化槽 総合カタログ GENERAL CATALOGUE

株式会社 ダイキアクシス

<https://daiki-axis.com/> スタンダード市場〈コード:4245〉

〔松山本社〕〒791-8022 愛媛県松山市美沢一丁目9番1号
TEL089-927-2222(代) FAX089-927-3335

〔東京本社〕〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-15-4 PMO東日本橋8F
TEL03-5823-3737(代) FAX03-5821-3377



問い合わせ方法・各事業所の
最新情報は、こちらでご確認
いただけます。

当社製品（浄化槽など）に関するお問い合わせ先

お客様窓口 [生産統括部 製造部 品質管理課]

〒791-8022 愛媛県松山市美沢一丁目9番1号 FAX 089-927-1973

☎ 0120-171893 受付時間/9:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

⚠ 安全に関するご注意

当社製品の設置工事や使用方法、維持管理などについては、付属の要領書、説明書等に詳しく記載されています。これらをよくお読みのうえ、正しく設置や使用、管理を行ってください。

本カタログの記載内容に関する留意事項

改良のため、予告なく製品の仕様や形状、色などを変更する場合があります。ご了承ください。



株式会社ダイキアクシスが製造する
プラスチック製浄化槽の品質保証
システムは松山本社および松山・
津島・信州・福島工場において、
ISO 9001の認証を受けています。

A-012D/S2500
2024年3月作成



浄化槽は、ダイキアクシスへ。

半世紀を越えて磨き上げてきた技術と対応力。
ダイキアクシスが守り続けるのは
命を育み、暮らしを潤す“水”の未来です。

ダイキアクシスは、水環境汚染の主原因とされる生活排水を処理できる浄化槽と水洗トイレ普及のため、全国に先駆けてFRP(繊維強化プラスチック)製家庭用浄化槽の開発と販売に乗り出しました。

この挑戦による業界初の浄化槽工場JIS認定を1976年に取得して以来、水処理のパイオニアとして、高機能、省コスト、省スペースを追い求めた様々な排水処理技術を磨き上げ、業界をリードしてきました。

これら“挑戦し続ける開発型企業”として歩んできた排水処理事業の使命“水環境保全”は、奇しくも、現代の国際社会共通目標SDGsにも重なるものです。

ダイキアクシスは、企業スローガン“PROTECT×CHANGE”のもと、創業からの「命を育み、暮らしを潤す“水”守る」という気概を胸にこれからも走り続けます。

“挑戦し続ける開発型企业”として、
ジャパングオリティを世界にも。

■ 充実した開発・生産体制

浄化槽をはじめとした各種排水処理システムは松山本社近くの自社施設で、開発部門の専門スタッフによって生み出されています。近年は業務提携や産学連携を行うなど、より柔軟な開発体制づくりにも積極的です。

また、製品の製造は生産事業部が管轄し、ISO9001の認証を取得した松山工場、津島工場、信州工場、福島工場が行い、万全の生産体制で高品質の製品をお客様にお届けしています。海外においては、グループ会社のPT.DAIKI AXIS INDONESIAや、DAIKI AXIS INDIA PVT.LTD.らが最新設備を備えた新工場で浄化槽や各種排水処理装置を製造しています。



信州工場〔長野県〕



PT.DAIKI AXIS INDONESIA [Serang]

**安心の対応力とサービスで、
お客様の大切な財産を守る。**

■ 万全の全国的なメンテナンス体制

全国主要都市に拠点を置くダイキアクシスは、グループ会社、協力会社を含めたメンテナンス部門において、長年の経験と豊富な実績を基に、高度な技術と対応力を持った有資格者が、24時間体制で中・大規模排水処理施設の保守点検を行っています。

戸建住宅用の小規模浄化槽の使用において、不具合が発生した場合は、ご契約されている維持管理業者にご相談ください(P.18参照)。



Contents

規模／処理対象人員	タイプ／型	型式／人槽	放流水質 (mg/ℓ以下)						ページ
■ 小・中規模浄化槽 5～50人	高度処理タイプ 窒素除去型	XH型 5～10人槽	BOD 20	COD 30	T-N 20	SS 20			04
	高度処理タイプ 窒素除去型	XC型 5～10人槽	BOD 10	COD 20	T-N 10	SS 10			05
	高度処理タイプ 窒素・リン除去型	XF型 5～10人槽	BOD 10	COD 20	T-N 10	T-P 1	SS 10		06
	高度処理タイプ デスポーザ対応型	DSJ型 5～10人槽	BOD 15	T-N 20	SS 20				07
	高度処理タイプ 窒素除去型	DCX2型 12～50人槽	BOD 20	COD 30	T-N 20	SS 20			08
■ 大規模浄化槽 51人～	ベーシックタイプ BOD除去型	GA型 51～280人槽	BOD 20	COD 30	SS 20	n-Hex 20			10
	ベーシックタイプ BOD除去型	DCW型 51～1,500人槽	BOD 20	SS 15	n-Hex 3				11
	ベーシックタイプ BOD除去型	RBC型 51～500人槽	BOD 15	COD 30	SS 15				12
	ベーシックタイプ BOD除去型	RBC2型 251～4,000人槽	BOD 15	COD 30	SS 15	n-Hex 20			13
	膜分離高度処理タイプ BOD除去型	FBF型 51～2,675人槽	BOD 10	COD 15	SS 5	n-Hex 5			14
	膜分離高度処理タイプ 窒素・リン除去型	FCF型 51～2,330人槽	BOD 5	COD 10	T-N 20	T-P 1	SS 5	n-Hex 3	15
	膜分離高度処理タイプ 窒素・リン除去型	FN2F型 51～1,864人槽	BOD 5	COD 10	T-N 10	T-P 0.5	SS 5	n-Hex 5	16
建築用途別 処理対象人員算定基準									17
浄化槽の設置準備・施工・使用・維持管理について									18

ダイキアクシスの
小規模浄化槽は全て
環境配慮型浄化槽
適合機種

小・中規模浄化槽

5～50人槽

- XH型 [窒素除去型]
- XC型 [窒素除去型]
- XF型 [窒素・リン除去型]
- DSJ型 [デスポーザ対応型]
- DCX2型 [窒素除去型]



建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品
全浄協登録品/国庫補助指針適合品/FRP評定取得品

高度処理タイプ 窒素除去型浄化槽

環境配慮型浄化槽適合機種

XH型

BOD 20	COD 30	T-N 20
SS 20		
処理対象人員 5～10人		

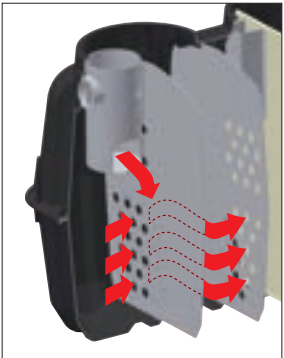
横向流夾雑物除去接触ろ床循環方式

家庭用浄化槽の新たな標準機種として、
安定した処理性能と合わせて
維持管理性も追求しました

XH型は当社の家庭用高度
処理型浄化槽におけるスタン
ダード機種の理想を目指し
て開発されました。“スタン
ダード＝信頼性の高い安定
した処理性能”と考え、実績
と合わせて保守点検・清掃
作業性に定評があった**“横向
流夾雑物除去方式”**をアレ
ンジした構造としました。同
方式は嫌気ろ材を使わない
当社オリジナルで、特許も
取得しています。

また、前モデルで確立させたポリプロピレン(PP)外槽[※]を継承
して、本体重量を軽量化。プロワは一口タイプの省エネ仕様を
採用し、施工性を高めながら環境にも十分配慮しました。

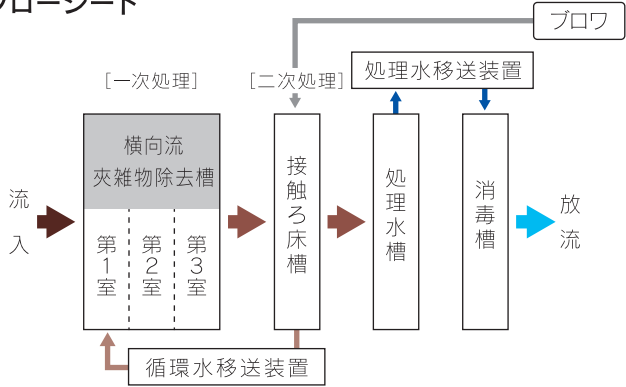
※5・7人槽



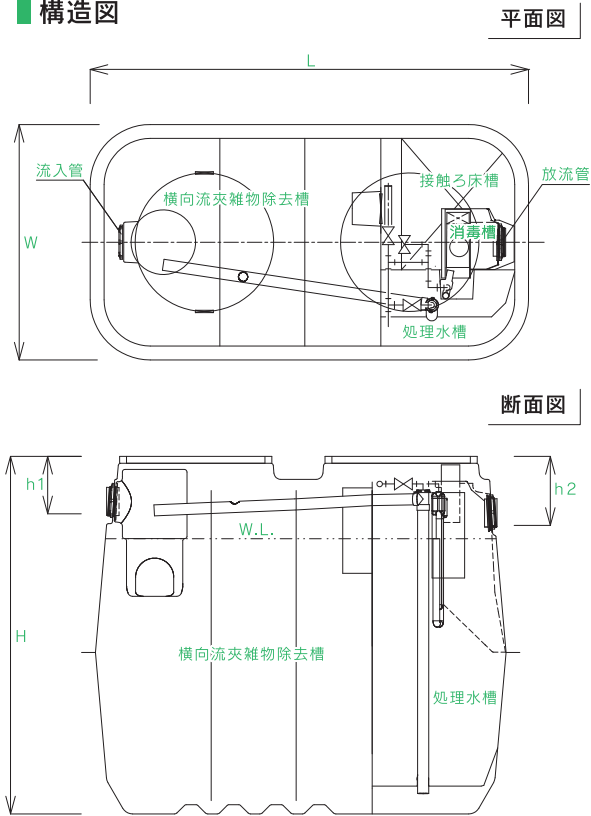
▲横向流夾雑物除去槽内の汚水の流れ

スマート構造を継承した 窒素除去型のニュースタンダード

■フローシート



■構造図



■仕様表

型 式			XH-5型	XH-7型	XH-10型
人 槽			5	7	10
外 槽 材 質			PP		FRP
有効容量 (m ³)	横 向 流 夾雜物除去槽	第1室	0.429	0.590	0.828
		第2室	0.346	0.461	0.626
		第3室	0.299	0.420	0.617
	接 触 ろ 床 槽	0.364	0.492	0.678	
	処 理 水 槽	0.141	0.215	0.291	
	消 毒 槽	0.021			
	総 容 量	1.600	2.199	3.061	
寸法 (mm)	全 長 L ※1	1,900 (2,410)	1,920 (2,430)	2,520 (3,130)	
	全 幅 W	1,020	1,320		
	全 高 H ※2	1,520 (1,550)			
	流入管底h1 ※2	220 (250)			
	放流管底h2 ※2	270 (300)			
	流 入 管 径	φ100			
	放 流 管 径	φ100			
	マンホール	φ600×2			
本 体 重 量 (kg) ※3		140	160	250	
プロワ	方 式	電磁式			
	電 源 (V)	AC100			
	送風量 (L / 分)	50	60	80	
	消費電力 (W)	28	35	51	

■自然放流ができない場合は、放流ポンプ槽一体型をご用意できます。

※1:()内は放流ポンプ槽一体型の場合 ※2:()内はマンホール上端からの寸法

※3:マンホールを含んだ総重量(目安)

建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品
全浄協登録品/国庫補助指針適合品/FRP評定取得品(5・7人槽)

高度処理タイプ

窒素除去型浄化槽

環境配慮型浄化槽適合機種

BOD
10

COD
20

T-N
10

SS
10

処理対象人員
5~10人

XC型

嫌気ろ床担体流動循環方式

オリジナル担体で“トリプル10”を実現

当社が開発したオリジナル大型担体を採用して、BOD10mg/ℓ以下、T-N10mg/ℓ以下、SS10mg/ℓ以下の“トリプル10”を実現しました。オーソドックスな嫌気ろ床担体流動循環方式のうえ、構造もシンプルなので安定した性能を維持でき、メンテナンスも容易です。



仕様表

型	式	XC-5型	XC-7型	XC-10型
人	槽	5	7	10
外	槽材質	FRP		
有効容量 (m³)	嫌気ろ床槽第1室	0.775	1.070	1.635
	嫌気ろ床槽第2室	0.739	1.049	1.519
	担体流動槽	0.457	0.627	0.936
	沈殿槽	0.352	0.420	0.729
	消毒槽	0.023		
寸法 (mm)	総容量	2,346	3,189	4,842
	全長 L ※1	2,330(2,890)	3,090(3,650)	2,800(3,370)
	全幅 W	1,140		1,700
	全高 H ※2	1,550(1,580)		1,860(1,890)
	流入管底 h1 ※2	250(280)		300(330)
	放流管底 h2 ※2	300(330)		400(430)
	流入管径	φ100		
	放流管径	φ100		
	マンホール	φ450×3	φ450×3 φ600×1	φ450×1 φ600×2
	本体重量 (kg) ※3	250	295	560
ブロワ	方式	電磁式		
	電源 (V)	AC100		
	送風量 (L/分)	60	80	100
	消費電力 (W)	35	51	95/100

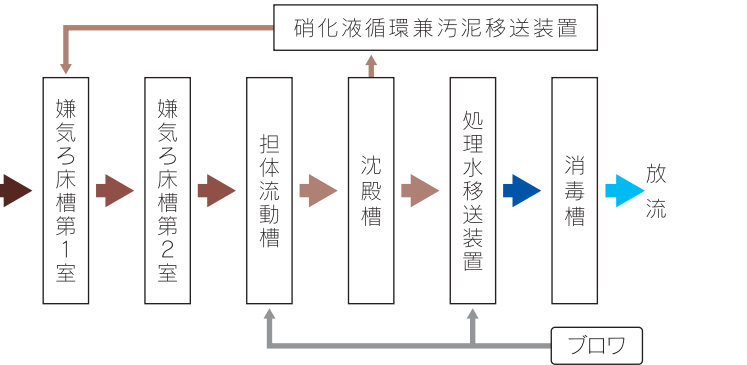
■自然放流ができない場合は、放流ポンプ槽一体型をご用意できます。
※1:()内は放流ポンプ槽一体型の場合の寸法 ※2:()内はマンホール上端からの寸法
※3:担体、マンホールを含んだ総重量(目安)



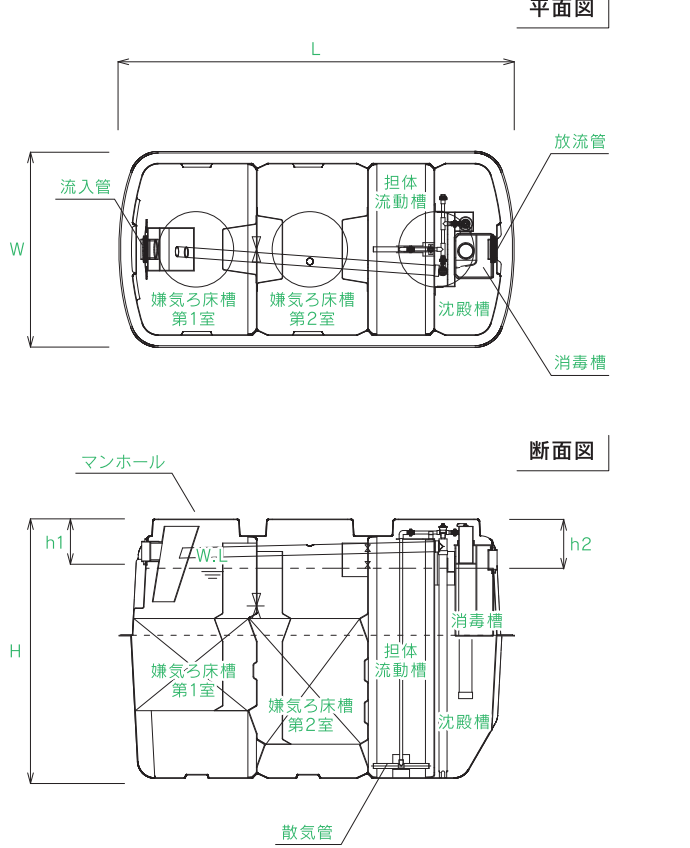
低全高とコンパクトボディで抜群の施工性

クラス最小のコンパクトボディは全高1,550mm(5・7人槽)。5人槽では当社同タイプ従来品比で掘削土量が17%減りました。

フローシート



構造図



建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品
全浄協登録品/国庫補助指針適合品/FRP評定取得品(5・7人槽)

高度処理タイプ

窒素・リン除去型浄化槽

環境配慮型浄化槽適合機種

BOD
10

COD
20

T-N
10

T-P
1

SS
10

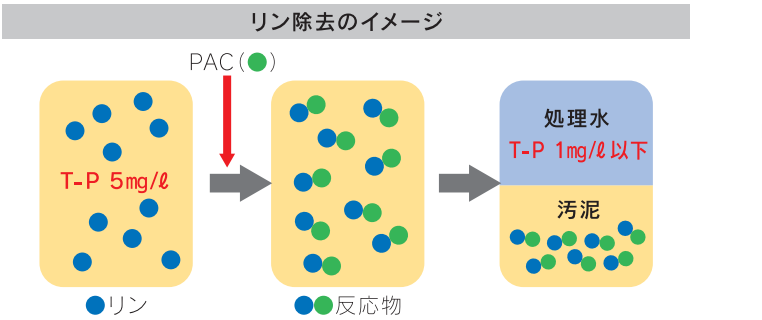
処理対象人員
5~10人

XF型

嫌気ろ床担体流動循環方式にリン除去装置を加えた方式

リン規制地域に対応した家庭用浄化槽！
実績の“凝集分離方式”で確実に処理

XF型に採用されているPAC(ポリ塩化アルミニウム)によるリン除去法は、他の排水処理装置で実績のあるシンプルかつ確実な処理方式です。浄化槽本体に接続した“リン除去装置”(右写真)でPACを注入して反応物を生成～分離することによって汚水中からリンを除去します。



施工性に優れ、ランニングコストも安価

リン除去装置と浄化槽本体との接続はオールインワンの専用キットで対応。本体も全高が低いコンパクト設計のうえ、一口ブロワで施工が簡単です。主なランニングコストは、電気代と補充用の薬品(PAC)代だけです。安価です。

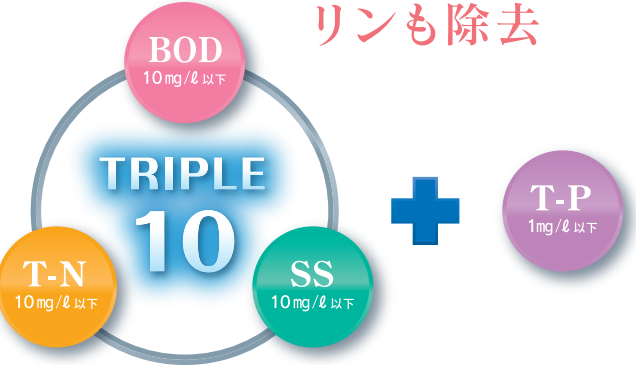
仕様表

型	式	XF-5型	XF-7型	XF-10型
人	槽	5	7	10
外	槽材質	FRP		
有効容量 (m³)	嫌気ろ床槽第1室	0.775	1.070	1.635
	嫌気ろ床槽第2室	0.739	1.049	1.519
	担体流動槽	0.457	0.627	0.936
	沈殿槽	0.352	0.420	0.729
	消毒槽	0.023		
寸法 (mm)	総容量	2,346	3,189	4,842
	全長 L ※1	2,330(2,890)	3,090(3,650)	2,800(3,370)
	全幅 W	1,140		1,700
	全高 H ※2	1,550(1,580)		1,860(1,890)
	流入管底 h1 ※2	250(280)		300(330)
	放流管底 h2 ※2	300(330)		400(430)
	流入管径	φ100		
	放流管径	φ100		
	マンホール	φ450×3	φ450×3 φ600×1	φ450×1 φ600×2
	本体重量 (kg) ※3	250	295	560
ブロワ	方式	電磁式		
	電源 (V)	AC100		
	送風量 (L/分)	60	80	100
	消費電力 (W) ※4	41	57	101

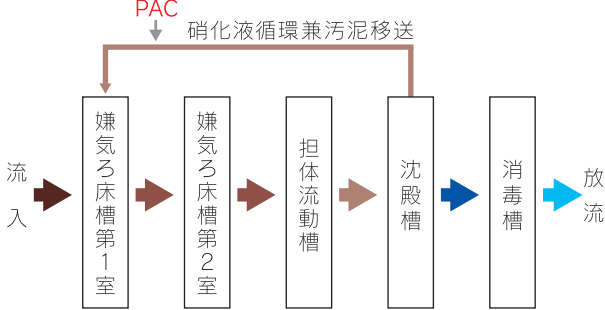
■自然放流ができない場合は、放流ポンプ槽一体型をご用意できます。
※1:()内は放流ポンプ槽一体型の場合の寸法 ※2:()内はマンホール上端からの寸法
※3:担体、マンホールを含んだ総重量(目安) ※4:ブロワとリン除去装置の合算



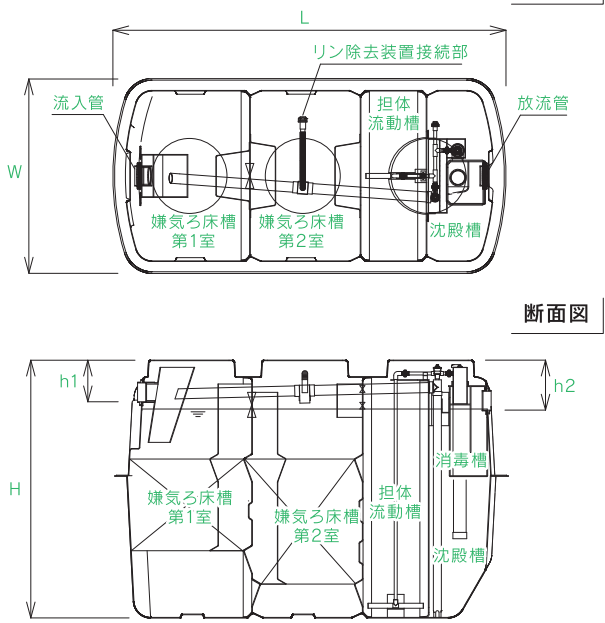
“トリプル10”に加え
リンも除去



フローシート



構造図



建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品
FRP認定取得品(5・7人槽)

高度処理タイプ ディスポーザ対応型浄化槽

環境配慮型浄化槽適合機種※

DSJ型

BOD
15

T-N
20

SS
20

処理対象人員
5~10人

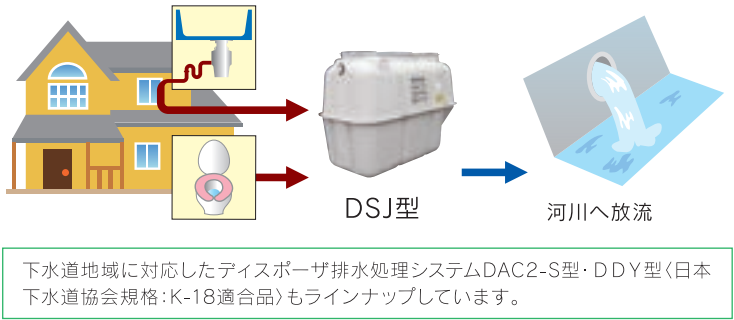
※5、7人槽

流量調整型固液分離嫌気ろ床担体流動循環方式

ディスポーザと専用浄化槽を用いることで、環境に優しい便利で清潔な生活を実現

面倒な生ゴミ処理から解放してくれて、便利で清潔な暮らしを約束する“ディスポーザ”。しかしながら、その排水は破砕生ゴミのために汚れが酷いため、一般の浄化槽では処理できません。そこで、ディスポーザ排水とキッチン排水、トイレ排水などを合わせた生活排水全てを処理できる専用のディスポーザ対応型浄化槽を設置しなければなりません。

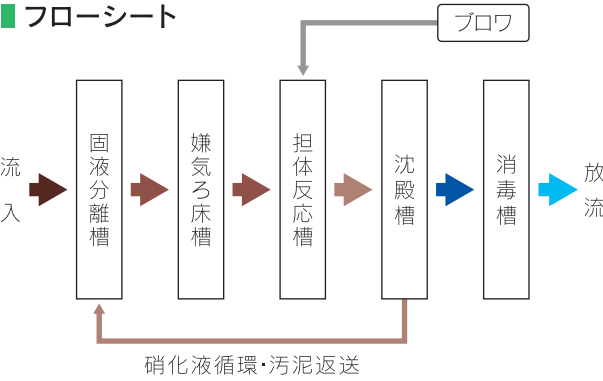
DSJ型は厳しい試験をパスして、国土交通大臣認定を取得した業界唯一の戸建用ディスポーザ対応型浄化槽です。高度処理タイプなので、環境負荷も最小限です。



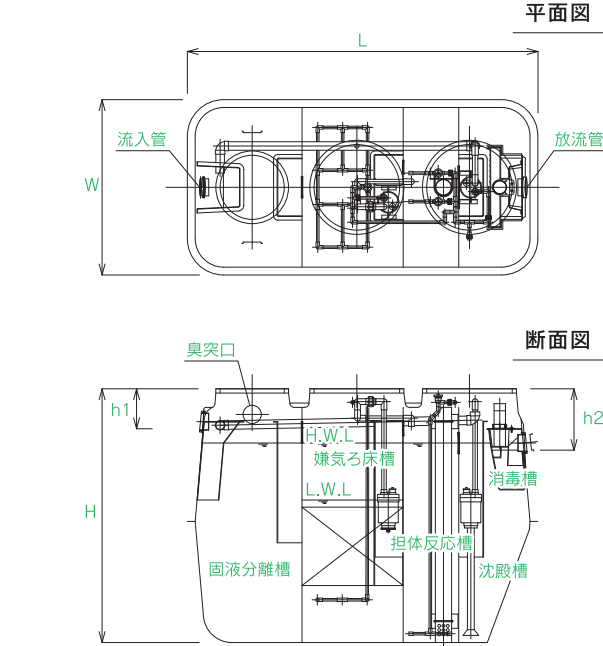
仕様表

型 式		DSJ-5型	DSJ-7型	DSJ-10型
人 槽		5	7	10
外 槽 材 質		FRP		
有効容量 (m³)	固 液 分 離 槽	1.029	1.447	2.127
	嫌 気 ろ 床 槽	1.031	1.437	2.103
	担 体 反 応 槽	0.563	0.726	1.091
	沈 殿 槽	0.420	0.512	0.713
	消 毒 槽		0.024	
寸 法 (mm)	総 容 量	3.067	4.146	6.058
	全 長 L	2,460	3,260	3,820
	全 幅 W	1,230		1,450
	全 高 H※1	1,800		1,950
	流 入 管 底 h1※1	290		
本体重量 (kg)※2	放 流 管 底 h2※1	440		
	流 入 ・ 放 流 管 径	φ100		
	マン ホール	φ450×1 φ600×2	φ600×3	φ450×2 φ600×2
	方 式	電磁式		
	電 源 (V)	AC100		
ブロワ	送 風 量 (L / 分)	60	80	120
	消 費 電 力 (W)	35	51	91

■自然放流ができない場合は、放流ポンプ槽一体型をご用意できます。
※1：マンホール上端からの寸法 ※2：担体、マンホールを含んだ総重量(目安)



構造図



建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品

高度処理タイプ 窒素除去型浄化槽

環境配慮型浄化槽適合機種※25人槽を除く

DCX2型

BOD
20

COD
30

T-N
20

SS
20

処理対象人員
12~50人

分離嫌気ろ床担体流動方式

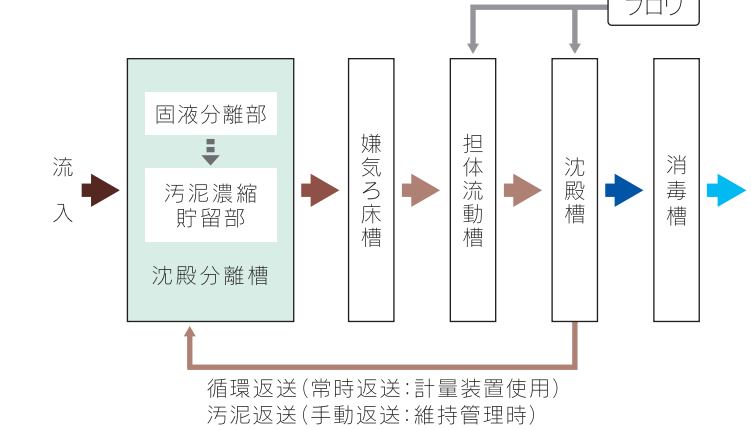
窒素除去でこれまで以上に環境に優しく

処理水の放流先である河川や地下水の富栄養化を抑える窒素除去機能付きで、厳しい水質規制に対応。

シンプルな構造で、維持管理と清掃が簡単

エア配管が1系統でバルブが2つのシンプル設計なので維持管理が容易。また、前処理に沈殿分離を採用しているので、清掃も簡単です。

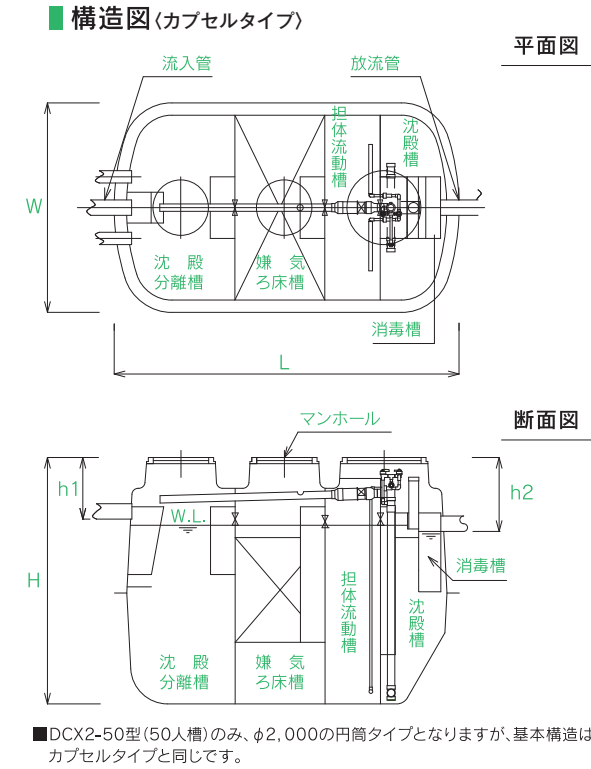
フローシート



仕様表

型 式	DCX2-12 型	DCX2-14-16型	DCX2-18型	DCX2-20-21型	DCX2-25型	DCX2-30型	DCX2-35型	DCX2-40型	DCX2-42・45型	DCX2-50型	
人 槽	12	14・16	18	20・21	25	30	35	40	42・45	50	
外 槽 材 質 (タイプ)	FRP(カプセル)										
有効容量 (m³)	沈 殿 分 離 槽	1.645	2.090	2.470	2.924	3.477	4.072	4.605	5.195	5.850	
	嫌 気 ろ 床 槽	1.344	1.763	2.074	2.491	2.983	3.450	3.989	4.465	5.438	
	担 体 流 動 槽	0.968	1.233	1.451	1.729	2.061	2.383	2.702	3.056	3.342	
	沈 殿 槽	0.686	0.846	0.990	1.218	1.436	1.649	1.830	2.006	2.508	
	消 毒 槽	0.037		0.052		0.075		0.104		0.105	
寸 法 (mm)	総 容 量	4.680	5.969	7.037	8.414	10.032	11.629	13.230	14.826	17.243	
	全 長 L	2,800	3,470	3,370	3,600	4,210	4,310	4,850	4,510	6,820	
	全 幅 W	1,700		2,000	2,200				2,400		2,000
	全 高 H※1	1,980				2,280			2,480		2,270
	流 入 管 底 h 1※1	480				580					
ブロワ	放 流 管 底 h 2※1	580				680					670
	マ ン ホ ー ル	φ450×2 φ600×1	φ450×1 φ600×2							φ450×3 φ600×1	
	本 体 重 量 (kg)※2	510	610	690	860	1,000	1,240	1,360	1,540	1,670	2,000
電 力 (V)	方 式	電磁式									
	電 力 (V)	AC100									
	送 風 量 (L / 分)	80	100	120	150	200			250		
	消 費 電 力 (W)	51/51	95/95	91/91	132/145	200/215			225/225		

■自然放流ができない場合は、放流ポンプ槽一体型をご用意できます。 ※1：プラスチック製マンホール上端からの寸法。铸铁製マンホール(6t耐圧)の場合は、20mmプラスされます。なお、『型式適合認定書別添仕様書及び図面』では、铸铁製マンホールの場合の寸法を記載していますのでご注意ください。 ※2：担体、マンホール(プラスチック製)を含んだ総重量(目安)。



大規模浄化槽

51人槽以上

- GA型 [BOD除去型]
- DCW型 [BOD除去型]
- RBC型 [BOD除去型]
- RBC2型 [BOD除去型]
- FBF型 [BOD除去型]
- FCF型 [窒素・リン除去型]
- FN2F型 [窒素・リン除去型]



建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品

ベーシックタイプ BOD除去型浄化槽

GA型

BOD 20	COD 30	SS 20
n-Hex 20	処理対象人員 51~280人	



〈全人槽〉
カプセル
タイプ

固液分離担体流動生物ろ過循環方式

51人槽以上の本体外槽にカプセルタイプ採用
低全高のコンパクト仕様で、施工性が大幅に向上

「51人槽以上の浄化槽は、円筒タイプでない」と…そんな社内常識を覆し、当社では初めて、51人槽以上の本体外槽にカプセルタイプを採用しました。円筒タイプの同等処理性能品に比べて、全高が**460mmも低くなり**、現場条件が緩和されて、設置しやすくなりました。合わせて**掘削土量も約30%削減**できます。

計画生産品なので、
納期短縮の要望に対応可能

カプセルタイプは、受注生産の円筒タイプと製造工程が異なり、**計画生産**できるため、お客様の納期短縮の要望※にも対応できます。

※在庫状況により、ご希望に沿えない場合もあります。

形状を工夫した
高性能オリジナル担体を使用

最も負荷の高い担体流動槽第1室には、当社オリジナルの高性能担体を使用。形状を工夫したビッグサイズで、生物付着量が多く、高い浄化能力を発揮します。



微生物が付着した使用中的担体

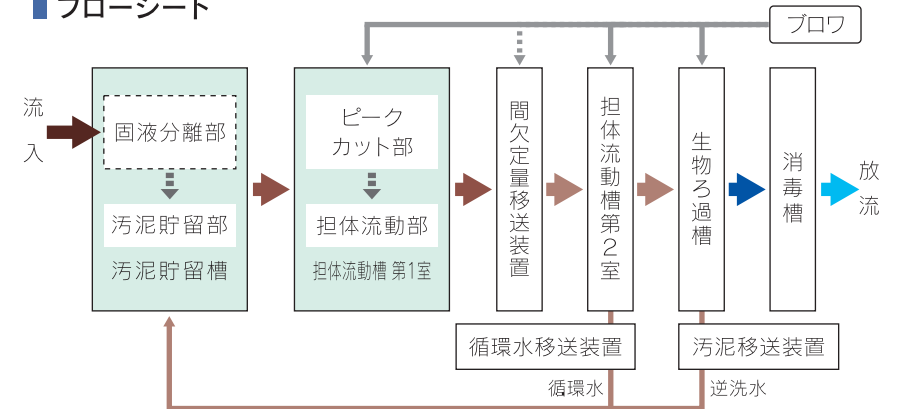
仕様表

型 式	GA-K1	
人 槽 ※1	51～280	
日平均汚水量 (m ³ /日) ※1	2.55～14.0	
外 槽 材 質	FRP	
有効容量 (m ³)	汚 泥 貯 留 槽	4.458
	担体流動槽第1室	2.591
	担体流動槽第2室	4.045
	生 物 ろ 過 槽	1.767
	沈 殿 槽	0.183
	放 流 ポ ンプ 槽	0.181
本 体 重 量 (kg) ※4	1,600	
ブ ロ ヱ	風 量 (L/分)	500
	電 力 (V) ※5	200
	出 力 (kW)	0.75

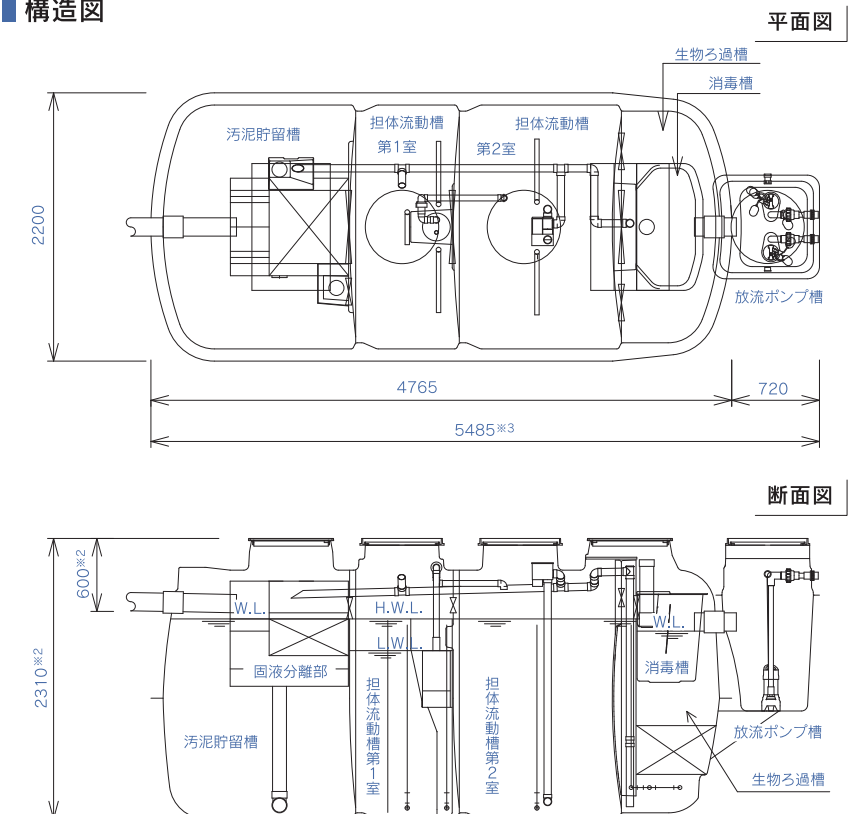
■オプションで自然放流タイプ、原水ポンプ槽等もご用意しています。
※1 建築用途により対応人槽、日平均汚水量が変わります
※2 鋳鉄製マンホール上端からの寸法 (嵩上げなし)
※3 自然放流タイプは、全長が720mm短くなり、また、放流管底はGL-760mmです (鋳鉄製マンホールの場合)
※4 担体、放流ポンプ槽を含んだ総重量 (目安)
※5 100V仕様もご用意できます

円筒タイプより
全高が低くなって施工性が大幅向上！
計画生産品で納期短縮が可能。

フローシート



構造図



建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品

ベーシックタイプ BOD除去型浄化槽

DCW型

BOD
20

SS
15

n-Hex
3

処理対象人員
51~1,500人

固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式

省スペースで施工性アップ

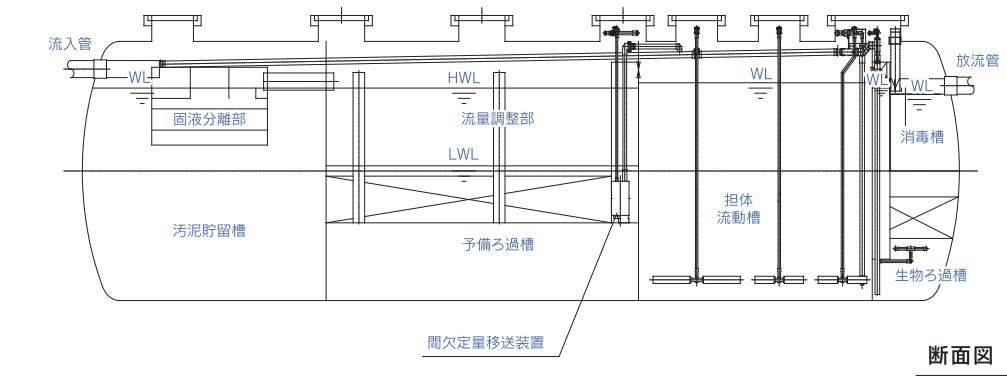
合理的かつシンプルな設計によって、処理槽がコンパクト。省スペースで高い施工性を発揮します。A3型は流入管底GL-1050mm※まで自然流入対応できます。

※かさ上げ含む

省エネと維持管理の簡素化を実現

固液分離方式のうえ、大型間欠定量移送装置採用や機器類のシンプル化によって、省エネと維持管理の簡素化を実現しました。

■ 構造図 [例:DCW-A型]



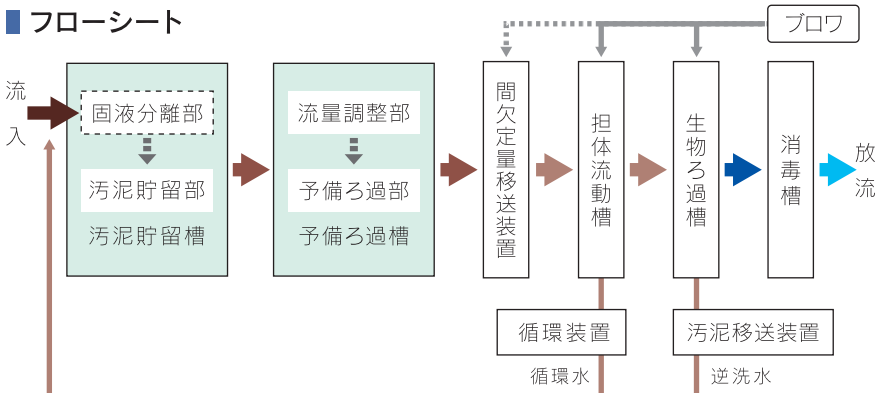
■ 概略寸法

配列 (型)	人槽	対応汚水量 (m ³ /日)	寸法(mm)		
			L1	L2	L3
A	51	10.2	3,460	—	—
	185	37.0	10,650	—	—
A3	51	10.2	3,730	—	—
	165	33.0	10,530	—	—
B	51	10.2	3,120	3,480	—
	265	53.0	10,650	6,600	—
C	135	27.0	2,360	4,060	4,420
	450	90.0	7,050	10,660	10,300

■本表は住宅用途(汚水量:200ℓ/人・日、流入水BOD:200mg/ℓ)の場合を示しています。
■各配列(型)の上段は最小の人槽を、下段は最大の人槽を示しています。

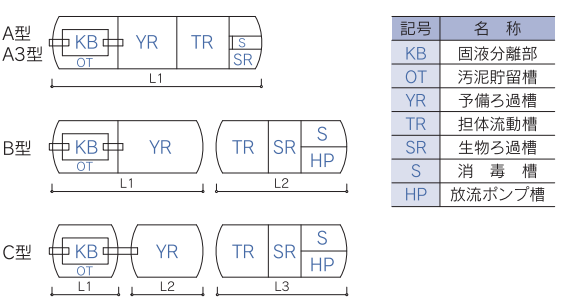


■ フローシート



※間欠定量移送装置の代わりに電動ポンプおよび計量調整装置を用いる場合があります。

■ 槽配列パターン



記号	名 称
KB	固液分離部
OT	汚泥貯留槽
YR	予備ろ過槽
TR	担体流動槽
SR	生物ろ過槽
S	消 毒 槽
HP	放流ポンプ槽

建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品

ベーシックタイプ BOD除去型浄化槽

RBC型

BOD
15

COD
30

SS
15

処理対象人員
51~500人

流量調整担体流動生物ろ過方式

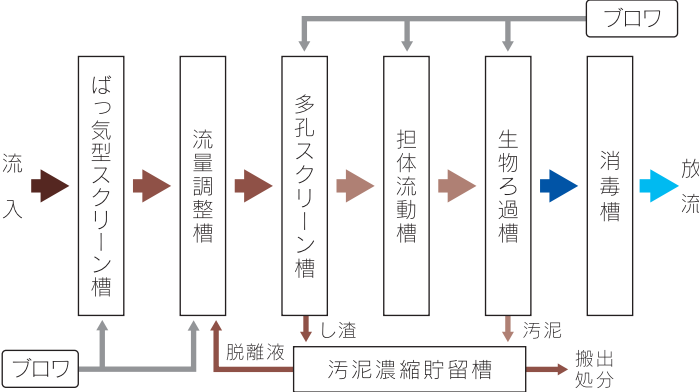
多孔スクリーン槽を採用

少ない容量で汚水中の夾雑物を除去できます。スクリーンは耐久性の高いステンレス製のうえ、ばっ気と担体の洗浄効果で目詰まりがないのでメンテナンスも簡単。

コンパクト設計で施工性が抜群

一槽で共同住宅用途の標準設計280人(56m³/日)まで対応可能で、100m³/日でも二本槽で収まります。また、流入管底GL-1600mmまでは、原水ポンプ槽の設置が不要です。

■ フローシート



※汚泥引抜きは負荷・貯留状況・搬出計画に合わせて行います。

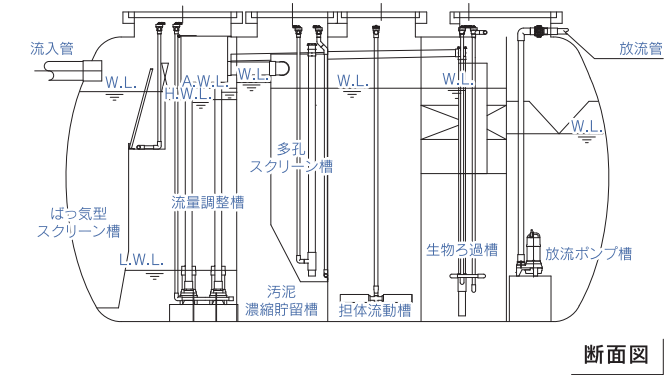
■ 概略寸法

配列 (型)	人槽	対応汚水量 (m ³ /日)	全長(mm)			
			L1	L2	L3	L4
A	51	10.2	5,610	—	—	—
	280	56.0	10,720	—	—	—
B1	51	10.2	4,160	3,090	—	—
	500	100.0	9,440	9,190	—	—
B2	51	10.2	3,370	3,090	—	—
	445	89.0	5,950	10,720	—	—
B3	51	10.2	2,470	4,280	—	—
	341	68.2	2,720	10,710	—	—
C1	51	10.2	2,470	2,830	3,090	—
	500	100.0	3,380	8,930	6,610	—
C2	51	10.2	3,370	4,080	2,350	—
	500	100.0	5,680	10,960	4,020	—
C3	51	10.2	2,470	3,370	3,090	—
	445	89.0	2,470	5,260	10,720	—
D	51	10.2	2,470	2,470	2,830	3,080
	500	100.0	2,470	2,720	8,930	6,610

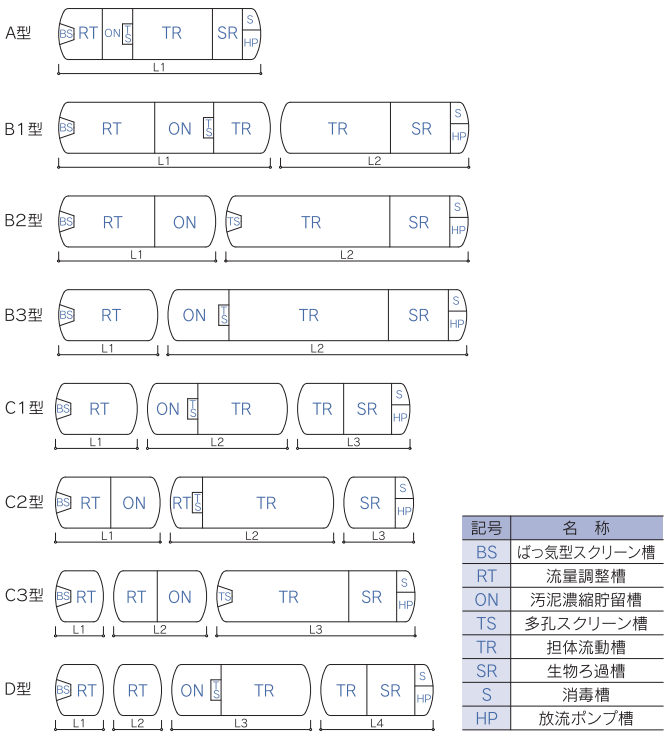
■本表は住宅用途(汚水量:200ℓ/人・日、流入水BOD:200mg/ℓ)の場合を示しています。
■各配列(型)の上段は最小の人槽を、下段は最大の人槽を示しています。



■ 構造図 [例:RBC-A型]



■ 槽配列パターン



記号	名 称
BS	ばっ気型スクリーン槽
RT	流量調整槽
ON	汚泥濃縮貯留槽
TS	多孔スクリーン槽
TR	担体流動槽
SR	生物ろ過槽
S	消毒槽
HP	放流ポンプ槽

建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品

ベーシックタイプ BOD除去型浄化槽

BOD
15

COD
30

SS
15

n-Hex
20

処理対象人員
251~4,000人



流量調整担体流動生物ろ過方式

4,000人までの大水量に対応

処理対象人員500人以下のRBC型よりも大幅に処理能力を上げ、4,000人(住宅用途:1,000人)までの大水量に対応可能としました。コンパクト設計を始めとした、RBC型の特長を全て踏襲し、流入管底GL-1600mmまでは原水ポンプ槽の設置が不要です。

系列切り換えによる省エネ運転が可能

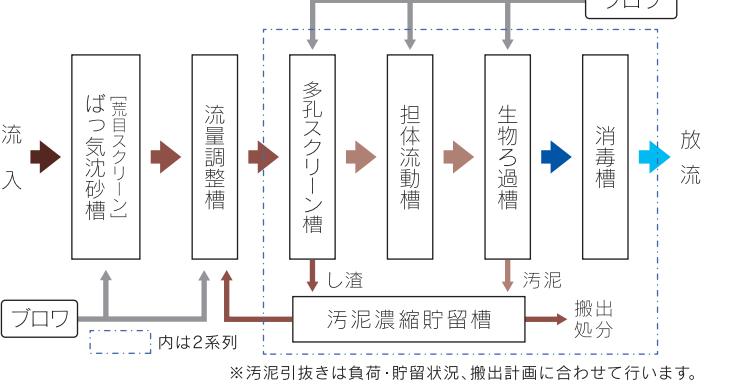
基本設計が並列2系列パターンとなっていますので、季節や対象施設の使用状況によって実流入水量が設計値を大きく下回る際は、1系列を休止させて運転することで電気代を節約できます。

概略寸法

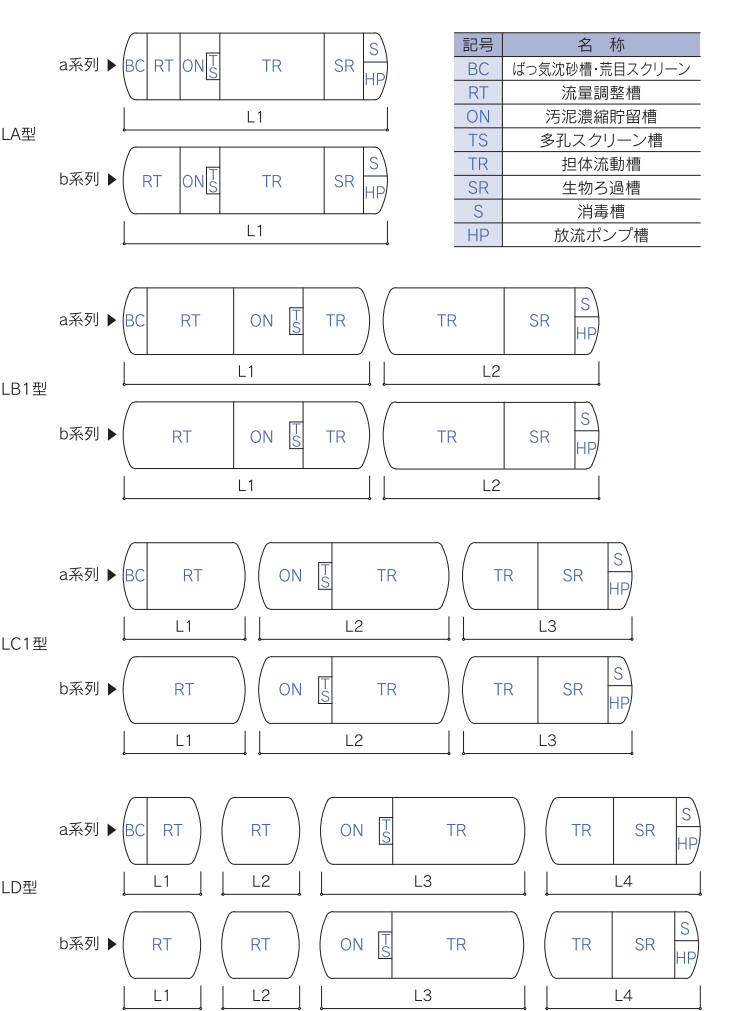
配列(型)	人槽	対応汚水量(m ³ /日)	系列	全長(mm)			
				L1	L2	L3	L4
LA	—	—	a	—			
			b	—			
LB1	491	98.2	a	10,650			
			b	10,250			
	501	100.2	a	5,850	5,300		
			b	5,450	5,300		
LB2	1000	200.0	a	9,420	9,410		
			b	9,420	9,410		
	501	100.2	a	4,600	6,580		
			b	4,200	6,580		
LB3	884	176.7	a	6,120	10,650		
			b	6,110	10,650		
	501	100.2	a	3,320	8,110		
			b	3,000	8,110		
LC1	677	135.4	a	3,320	10,640		
			b	3,000	10,640		
	501	100.2	a	3,320	4,230	4,230	
			b	3,000	4,230	4,230	
LC2	1000	200.0	a	3,680	7,770	7,770	
			b	3,680	7,770	7,770	
	501	100.2	a	4,600	6,220	2,530	
			b	4,200	6,220	2,530	
LC3	1000	200.0	a	6,220	10,090	4,030	
			b	5,820	10,090	4,030	
	501	100.2	a	3,000	4,700	6,580	
			b	3,000	4,700	6,580	
LD	884	176.7	a	3,000	5,940	10,650	
			b	3,000	5,940	10,650	
	501	100.2	a	3,000	3,920	4,230	4,230
			b	3,000	3,920	4,230	4,230
LD型	1000	200.0	a	3,000	3,920	7,770	7,770
			b	3,000	3,920	7,770	7,770

■本表は住宅用途(汚水量:200ℓ/人・日、流入水BOD:200mg/ℓ)の場合を示しています。
■各配列(型)の下段は最大の人槽を示しています。

フローシート



槽配列代表パターン



建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品

膜分離高度処理タイプ BOD除去型浄化槽

BOD
10

COD
15

SS
5

n-Hex
5

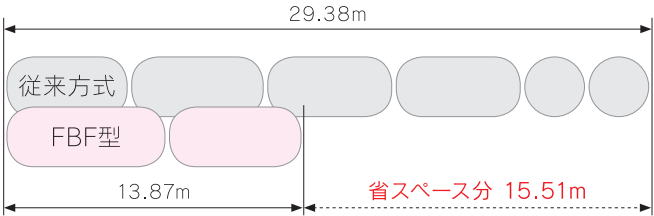
処理対象人員
51~2,675人



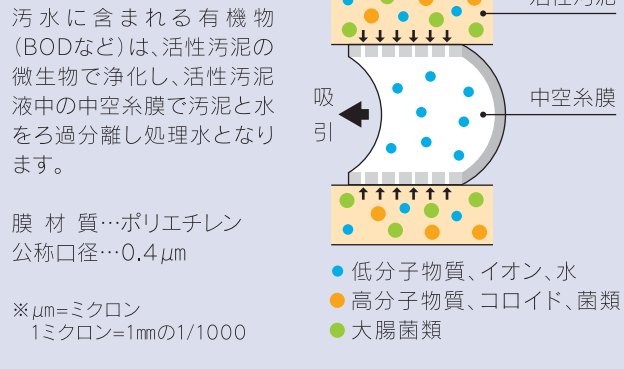
膜分離活性汚泥方式

中空糸膜処理の採用でコンパクト

従来方式と比較して、省スペースになります。
[例:300人槽・住宅・調整流量比1.5の場合]



浄化の仕組み

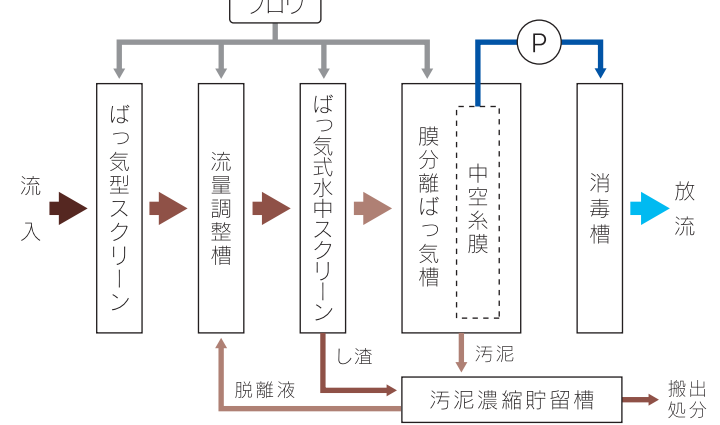


概略寸法

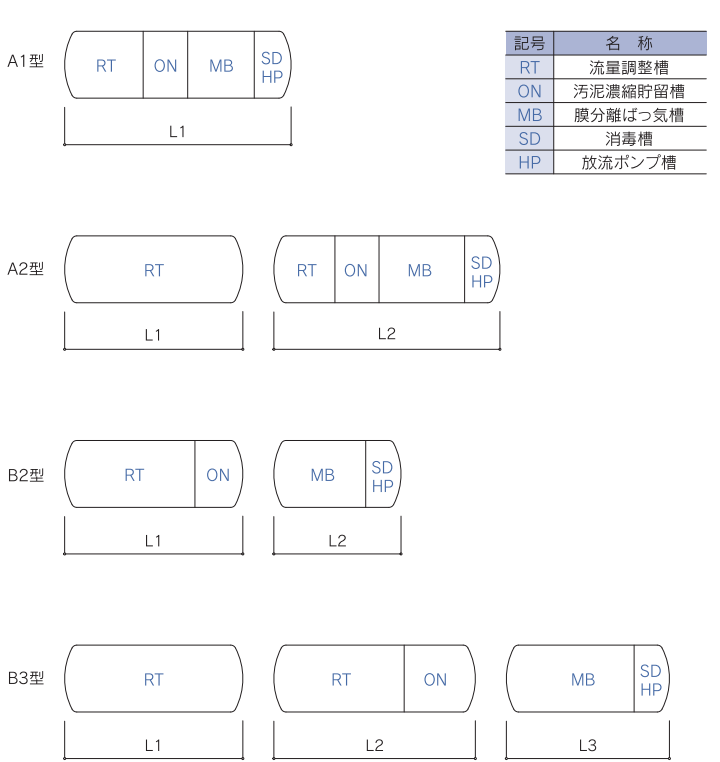
人槽	配列(型)	全長(mm)		
			L2	L3
51	A1	5,190	—	—
60		5,460	—	—
70		5,920	—	—
80		6,220	—	—
90		6,510	—	—
100		6,800	—	—
120		7,390	—	—
140		9,030	—	—
160		9,610	—	—
180		10,200	—	—
200	B2	10,890	—	—
220		8,370	3,950	—
240	A2	8,960	3,950	—
260		5,960	7,260	—
280		6,550	8,360	—
300		7,140	8,470	—
350		8,600	8,730	—
400		9,560	9,570	—
450		10,890	10,900	—
500	B3	9,070	9,080	5,950

■本表は住宅用途(汚水量200ℓ/人・日、流入水BOD200mg/ℓ)、流量調整比1.0、ポンプアップ放流の場合を示します。

フローシート



槽配列パターン



建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品

膜分離高度処理タイプ 窒素・リン除去型浄化槽

BOD
5

COD
10

T-N
20

T-P
1

SS
5

n-Hex
3

処理対象人員
51~2,330人



凝集剤添加膜分離活性汚泥方式

窒素・リン除去ができるので
水質規制の厳しい地域にも対応可能

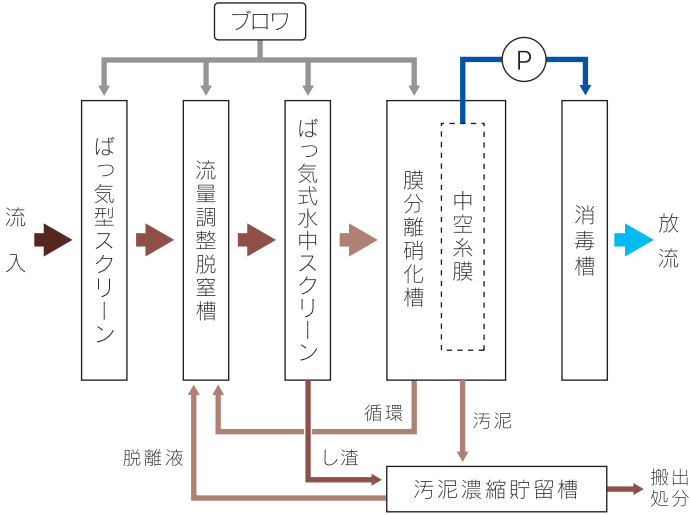
厳しい水質規制に対応する、脱窒・脱リンが可能なコンパクトかつ、高性能な浄化槽です。中空糸膜（外圧式）の採用で、安定的に排水を高度に処理します。

■ 概略寸法

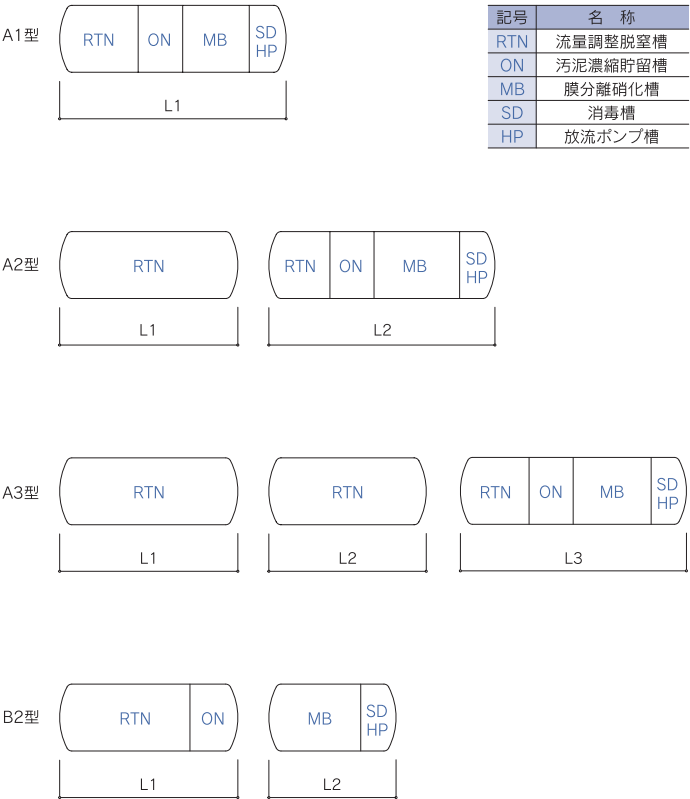
人槽	配列(型)	全 長 (mm)		
		L1	L2	L3
51	A1	5,700	—	—
60		5,700	—	—
70		5,700	—	—
80		5,870	—	—
90		6,350	—	—
100		6,440	—	—
120		7,430	—	—
140	B2	8,930	—	—
160		9,170	—	—
180		10,280	—	—
200		10,320	—	—
220		7,710	4,110	—
240		8,770	4,110	—
260	A2	6,220	7,740	—
280	B2	9,950	4,950	—
300	A2	6,880	8,610	—
350		8,330	9,510	—
400		9,480	10,390	—
450	A3	6,050	6,050	10,660
500		7,450	7,460	10,320

■本表は住宅用途（汚水量200ℓ/人・日、流入水BOD200mg/ℓ、流入水T-N50mg/ℓ、流入水T-P5mg/ℓ）、ポンプアップ放流の場合を示します。
■FCF型は、使用膜面積によって流量調整比1.0～1.5の範囲で使用できます。詳しくは、当社営業担当者にお尋ねください。

■ フローシート



■ 槽配列パターン



建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品

膜分離高度処理タイプ 窒素・リン除去型浄化槽

BOD
5

COD
10

T-N
10

T-P
0.5

SS
5

n-Hex
5

処理対象人員
51~1,864人



凝集剤添加膜分離活性汚泥方式

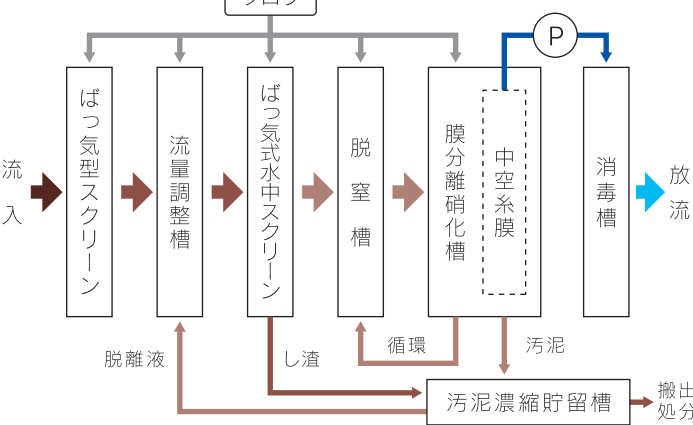
安定した窒素・リン除去が可能な高度処理型

窒素・リンの除去が可能で、厳しい水質基準に対応。中空糸膜でのろ過により、安定した清澄な処理水が得られます。

省コスト

装置がコンパクトなので、イニシャルコストが従来方式と比べて、大幅に安くなります。また、ランニングコストも50%に抑えられます。

■ フローシート



■ 概略寸法

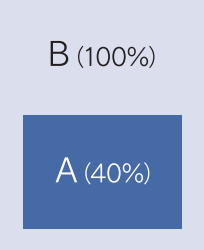
人槽	配列(型)	全 長 (mm)			
		L1	L2	L3	L4
51	A1	6,800	—	—	—
60		6,800	—	—	—
70		6,800	—	—	—
80		6,800	—	—	—
90		7,190	—	—	—
100		7,890	—	—	—
120		8,490	—	—	—
140		9,050	—	—	—
160		10,220	—	—	—
180	B2	6,570	5,950	—	—
200		7,790	6,130	—	—
220		6,950	6,400	—	—
240		8,120	6,670	—	—
260		5,950	10,530	—	—
280	B2	8,680	7,530	—	—
300		9,960	7,940	—	—
350	C3	6,010	8,960	5,540	—
400	B3	6,380	6,380	10,070	—
450		8,610	8,620	9,890	—
500	D4	8,600	8,600	5,270	7,240

■本表は住宅用途（汚水量200ℓ/人・日、流入水BOD200mg/ℓ、流入水T-N50mg/ℓ、流入水T-P5mg/ℓ）、ポンプアップ放流の場合を示します。
■FN2F型は、使用膜面積によって流量調整比1.0～1.5の範囲で使用できます。詳しくは、当社営業担当者にお尋ねください。

従来方式と比較して、
約60%の省スペース化を実現

従来方式との比較（用途：住宅 処理対象人員：1,000人の場合）
A…FN2F型
B…硝化液循環活性汚泥方式〔告示1292号第11〕

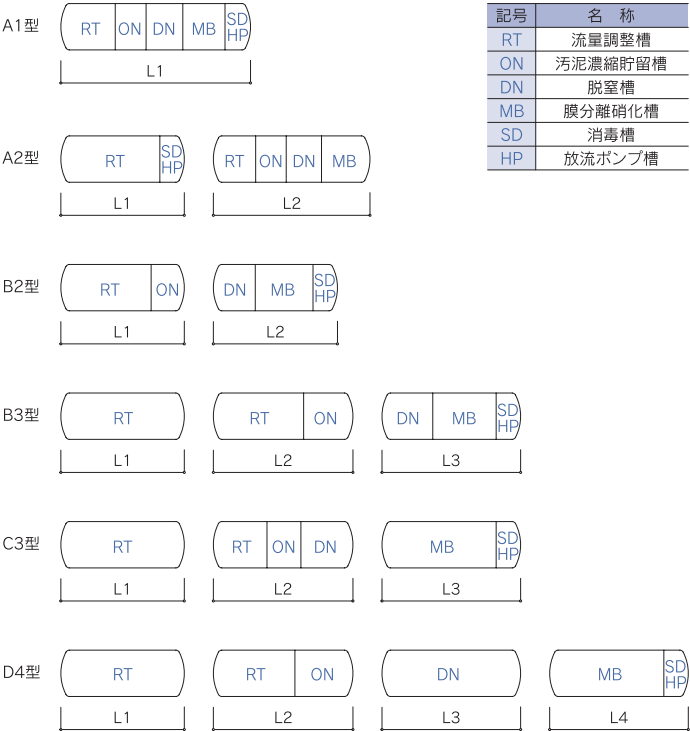
〔設置面積の比較〕



〔容量の比較〕＊流量調整槽を100.0とした場合

	A	B
流 量 調 整 槽	100.0	100.0
脱 窒 槽	41.7	83.3
硝 化 槽	50.0	183.3
沈 殿 槽	—	33.3
中 間 流 量 調 整 槽	—	16.7
脱 窒 用 接 触 槽	—	41.7
再 ば っ 気 槽	—	16.7
凝 集 槽	—	4.2
凝 集 沈 殿 槽	—	33.4
消 毒 槽	2.1	2.1
汚 泥 濃 縮 槽	7.8	9.5
汚 泥 貯 留 槽	13.7	16.6
合 計	215.3	540.8

■ 槽配列パターン



建築用途別 処理対象人員算定基準 (JIS A 3302:2000)

類 用途別 番号	以 用途別 番号	建築用途		処理対象人員		参考値		1日の排水 時間
						合併処理対象 (算定単位当たり)		
				算定式	算定単位	汚水量	BOD	
1	集合場施設関係	イ 公会堂・集会場・劇場・ 演芸場・映画館	n=0.08A	n：人員(人) A：延べ面積(㎡)	16 (ℓ/㎡・日)	150 (mg/ℓ)	公会堂・ 集会場8 劇場・ 演芸場10 映画館12	
		ロ 競輪場・競馬場、競艇場	n=16C	n：人員(人) C ^(注1) ：総便器数(個)	2,400 (ℓ/個・日)	260 (mg/ℓ)	10	
		ハ 観覧場・体育館	n=0.065A	n：人員(人) A：延べ面積(㎡)	10 (ℓ/㎡・日)	260 (mg/ℓ)	15	
2	住宅施設関係	イ 住宅	A≤130㎡ ^(注2) の場合	n=5	1,000 (ℓ/戸・日)	200 (mg/ℓ)	12	
		130㎡ ^(注2) <A の場合	n=7	n：人員(人) A：延べ面積(㎡)	1,400 (ℓ/戸・日)			
		2世帯住宅の場合	n=10	2,000 (ℓ/戸・日) ^(注3)				
		ロ 共同住宅	n=0.05A	n：人員(人) ただし、1戸当たりのnが3.5人以下の場合は1戸当たりのnを3.5人または2人(1戸が1居室 ^(注4) だけで構成されている場合に限り)とし、1戸当たりのnが6人以上の場合は1戸当たりのnを6人とする。 A：延べ面積(㎡)	10 (ℓ/㎡・日)	200 (mg/ℓ)	12	
		ハ 下宿・寄宿舎	n=0.07A	n：人員(人) A：延べ面積(㎡)	14 (ℓ/㎡・日)	140 (mg/ℓ)	8	
		ニ 学校寄宿舎・老人ホーム・ 自衛隊キャンパシ宿舎・養護施設	n=P	n：人員(人) P：定員(人)	200 (ℓ/人・日)	200 (mg/ℓ)	8 (但し老人ホーム10)	
		3	宿泊施設関係	イ ホテル・ 旅館	結婚式場または宴会場をもつ場合	n=0.15A	n：人員(人) A：延べ面積(㎡)	30 (ℓ/㎡・日)
結婚式場または宴会場をもたない場合	n=0.075A	30 (ℓ/㎡・日)		100 (mg/ℓ)				
ロ モーテル	n=5R	n：人員(人) R：客室数		1,000 (ℓ/室・日)	50(mg/ℓ)	10		
ハ 簡易宿泊所・合宿所・ ユースホステル・青年の家	n=P	n：人員(人) P：定員(人)		200 (ℓ/人・日)	200(mg/ℓ)	8		
4	医療施設関係	イ 病院・ 療養所・ 伝染病院	業務用厨房設備または洗濯設備が設けられる場合	300床未満の場合 n=8B 300床以上の場合 n=11.43(B-300)+2,400	n：人員(人) B：ベッド数(床)	B×1,000 (ℓ/床・日)	320(mg/ℓ)	12
		業務用厨房設備または洗濯設備が設けられない場合	300床未満の場合 n=5B 300床以上の場合 n=7.14(B-300)+1,500	B×1,000 (ℓ/床・日)	B×1,300 (ℓ/床・日)	150(mg/ℓ)		
		ロ 診療所・医院	n=0.19A	n：人員(人) A：延べ面積(㎡)	25 (ℓ/㎡・日)	300(mg/ℓ)	8	
		5	店舗関係	イ 店舗・マーケット	n=0.075A	15 (ℓ/㎡・日)	150 (mg/ℓ)	8
ロ 百貨店	n=0.15A	30 (ℓ/㎡・日)		150 (mg/ℓ)	8			
ハ 飲食店	一般の場合	n=0.72A		130 (ℓ/㎡・日)	220 (mg/ℓ)	8		
	汚濁負荷の高い場合	n=2.94A		260 (ℓ/㎡・日)	450 (mg/ℓ)			
二 喫茶店	汚濁負荷の低い場合	n=0.55A		110 (ℓ/㎡・日)	200 (mg/ℓ)			
	n=0.80A	160 (ℓ/㎡・日)		150 (mg/ℓ)	10			
6	娯楽施設関係	イ 玉突場・卓球場	n=0.075A	15 (ℓ/㎡・日)	150 (mg/ℓ)	8		
		ロ パチンコ店	n=0.11A	22 (ℓ/㎡・日)	150 (mg/ℓ)	12		
		ハ 囲碁クラブ・マージャンクラブ	n=0.15A	30 (ℓ/㎡・日)	150 (mg/ℓ)	8		
		ニ ディスコ	n=0.50A	100 (ℓ/㎡・日)	150 (mg/ℓ)	6		
		ホ ゴルフ練習場	n=0.25S	n：人員(人) S：打席数(席)	50 (ℓ/席・日)	150 (mg/ℓ)	10	
		ヘ ボーリング場	n=2.50L	n：人員(人) L：レーン数(レーン)	500 (ℓ/レーン・日)	150 (mg/ℓ)	10	
		ト パッティング場	n=0.20S	n：人員(人) S：打席数(席)	40 (ℓ/席・日)	150 (mg/ℓ)	10	
		チ テニス場	ナイター設備を設ける場合	n=3S	600 (ℓ/面・日)	150 (mg/ℓ)	10	
		ナイター設備を設けない場合	n=2S	400 (ℓ/面・日)				
		リ 遊園地・海水浴場	n=16C	n：人員(人) C ^(注1) ：総便器数(個)	2,400 (ℓ/個・日)	260 (mg/ℓ)	7	

類 以 用 途 別 番 号	建築用途			処理対象人員		参考値				
						合併処理対象 (算定単位当たり)		1日の排水 時間		
				算定式	算定単位	汚水量	BOD			
6	娯 楽 施 設 開 係	ヌ	プール・スケート場	$n=\frac{20C+120U}{8}$ A: 人員(人) C: 大便器数(個) U ^(注5) : 小便器数(個) t: 単位便器当たり 1日平均使用時間 (時間) t=1.0~2.0	—	150 (mg/ℓ)	10			
		ル	キャンプ場	n=0.56P A: 人員(人) P: 収容人員(人)	70 (ℓ/人・日)	320(mg/ℓ)	8			
		ロ	ゴルフ場	n=21H A: 人員(人) H: ホール数(ホール)	250 (ℓ/人・日)	130(mg/ℓ)	10			
7	駐 車 場 開 係	イ	サービス エリア	一般部	n=3.60P	n: 人員(人) P: 駐車まず数(まず)	480 (ℓ/まず・日)	300(mg/ℓ)	12	
				便所	観光部		n=3.83P			510 (ℓ/まず・日)
				売店なし/ キングエリア	n=2.55P		340 (ℓ/まず・日)			
				売店	一般部		n=2.66P			180 (ℓ/まず・日)
					観光部		n=2.81P			190 (ℓ/まず・日)
		ロ	駐車場・自動車庫	$n=\frac{20C+120U}{8}$ A: 人員(人) C: 大便器数(個) U ^(注5) : 小便器数(個) t: 単位便器当たり 1日平均使用時間 (時間) t=0.4~2.0	—	—	12			
		ハ	ガソリンスタンド	n=20 A: 人員(人) 1営業所当たり	—	—	8			
8	学 校 施 設 開 係	イ	保育所・幼稚園・小学校・ 中学校	n=0.20P A: 人員(人) P: 定員(人)	50 (ℓ/人・日)	180(mg/ℓ)	8			
		ロ	高等学校・大学・各種学校	n=0.25P	60 (ℓ/人・日)	180(mg/ℓ)	8			
		ハ	図書館	n=0.08A A: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	16 (ℓ/㎡・日)	150(mg/ℓ)	5			
9	事 務 所 開 係	イ	事務所	業務用厨房設備を 設ける場合	n=0.075A A: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	10 (ℓ/㎡・日)	200(mg/ℓ)	8		
			業務用厨房設備を 設けない場合	n=0.06A	10 (ℓ/㎡・日)	200(mg/ℓ)				
10	作 業 場 開 係	イ	工場・ 作業所・ 研究所・ 試験所	業務用厨房設備を 設ける場合	n=0.75P A: 人員(人) P: 定員(人)	100 (ℓ/人・日)	300(mg/ℓ)	工場・作業所 交通勤務無 8 12~24 研究所・試験所6		
			業務用厨房設備を 設けない場合	n=0.30P	60 (ℓ/人・日)	150(mg/ℓ)				
11	1 〜 10 の 用 途 に 属 さ ない 施 設	イ	市場	n=0.02A A: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	4.2 (ℓ/㎡・日)	200(mg/ℓ)	10			
		ロ	公共浴場	n=0.17A	33 (ℓ/㎡・日)	50(mg/ℓ)	12			
		ハ	公共便所	n=16C A: 人員(人) C ^(注1) : 総便器数(個)	—	—	—			
		ニ	駅・ バスター ミナル	P<100,000 の場合	n=0.008P	n: 人員(人) P: 乗降客数(人/日)	—	—	始発〜最終	
100,000≦P< 200,000の場合	n=0.010P									
200,000≦P の場合	n=0.013P									

注1 大便器数、小便器数および両用便器数を合計した便器数。
2 この値は、当該地域における住宅の一戸当たりの平均的な延べ面積に応じて、増減できるものとする。
3 合併処理対象で浴室及び台所が2つ以上ある場合。
4 居室とは、建築基準法による用語の定義でいう居室であって、居住、執務、作業、集会、娯楽その他これらに類する目的のために継続的に使用する室をいう。ただし、共同住宅における台所および食事室を除く。
5 女子専用便所にあつては、便器数のおおむね1/2を小便器とみなす。
※算定単位当たりの汚水量およびBOD濃度は、JIS A 3302で定められているものではありません。記載数値は参考とし、実際の算出は実状にあつた数値を採用してください。
※行政庁によっては、上表と異なる指導をする場合があります。

設置に関する留意事項

- ①浄化槽を設置するに際して
都道府県に登録されている専門の(浄化槽設備士の資格を持つ) 工事業者と、次のような事項について打ち合わせをしてください。
●浄化槽の機種の選定、処理対象人員(処理水量)、放流先および放流水質の規制値 ●設置場所、特殊工事の有無
●建築用途、流入・放流管底 ●設置届けの有無
- 注意**
- 1) 特殊工事を必要とする場合の例
●設置場所を車庫、駐車場などに使用する場合
●設置場所が断崖、川べり、交通量の多い道路端、軟弱地盤、地下水などが出る場所、多雪地帯、近隣の建物の荷重が影響する場合
- 2) 浄化槽工事着手の制限について
型式浄化槽は、設置届けが受理された日から、10日経過した後(受理当日の初日は計算しない)、工事に着手してください。
なお、水質汚濁防止法の特定施設となるものは、工事着手60日前までに申請してください。

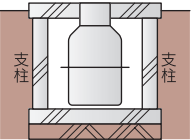
- ②浄化槽の設置工事
浄化槽の設置工事は、都道府県に登録されている“**浄化槽設備士**”の資格を持つ工事業者に依頼してください。
- ③浄化槽の維持管理(保守点検・清掃)
浄化槽の維持管理は、都道府県に登録されている“**浄化槽管理士**”の資格を持つ保守点検業者と契約してください(有料)。
また、浄化槽の汚泥引き抜きなどの清掃は、市町村の許可を受けた“**浄化槽清掃業者**”に依頼してください(有料)。

施工について

製品付属の『施工要領書』をよくお読みになり、諸法令に従って安全に十分配慮したうえで、正しく施工を行ってください。

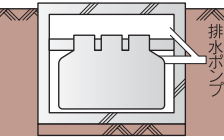
補強工事 (設置場所を駐車場として利用する場合など)

○浄化槽の設置場所を駐車場として利用する場合や、積雪が1mを超える豪雪地域などに設置する場合は、補強のため支柱工が必要です。ただし、総重量2t以下の車両の駐車場、積雪1m以下の地域においては、支柱工事が省略できる場合があります。詳しくは、工事業者へお問い合わせください。



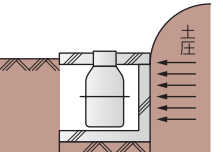
深埋め工事

○かさ上げは、300mm以内としてください。300mmを超える場合は、ピット構造で施工し、点検が容易にできるように上部スペースを設けてください。



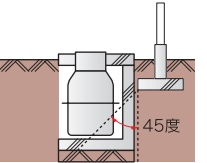
崖や道路・駐車場に隣接した設置工事

○崖や道路、駐車場に隣接して設置する場合は、その荷重がかかる方向にRC(鉄筋コンクリート)構造の側壁を設けてください。



建物きわへの設置工事

○設置スペースの都合上、やむを得ず建物きわへ設置する場合は、側壁を基礎と一体化して施工してください。



使用に関する注意事項

- ご使用前に、必ず製品付属の『取扱説明書』をお読みください。誤った操作をしたり、指定外の物を浄化槽内に流入させると、所定の性能を発揮できなくなったり、故障の原因となる恐れがあります。
- ブロワの電源を切らないでください。
 - 調理くずや食べ残しを浄化槽に流入させないでください(デイスパーザ対応浄化槽の場合は、取扱説明書の指示に従ってください)。
 - てんぷら油(使用済み・賞味期限切れ等)を浄化槽に流入させないでください。各自治体のルールに従って、可燃ゴミとして廃棄したり、資源回収してもらうなどして処分してください。
 - トイレには、水に溶けない紙類、タバコ、脱脂綿、衛生用品、紙オムツなどを流さないでください。
 - 洗剤は無リン合成洗剤を使用し、適量をお使いください。
 - 槽内に薬品類(塩酸、殺虫剤、防臭剤、漂白剤など)が流入しないようにしてください。
 - 槽内に雨水が流入しないようにしてください。

維持管理について

製品付属の『維持管理要領書』をよくお読みになり、諸法令に従った適切な維持管理(保守点検・清掃)を行ってください。